

令和3年度大洲から「体験の風をおこそう」運動推進事業 「コロナに負けるな！体験チャレンジデー」

1 ねらい

多くの地域住民の参加を得て、地域づくりの一拠点として開催し、様々な体験プログラムを通して体験活動の裾野を広げるとともに地域住民の交流を図ることを目的とする。

また、10月が「体験の風をおこそう推進月間」であることから、子供や保護者を対象に、自然体験や生活体験等に取り組む「子ども体験遊びリンピック」を同時開催する。

2 実施日

令和3年10月16日（土）12時00分～15時00分

3 内容

展示コーナー 華道展（華道クラブによる華道作品の展示）・大洲市内小中学生絵画展
（大洲市内の小中学生が描いた絵画の展示）

体験コーナー ビニールプールカヌー・クライミング・紙すき・火おこし・昭和の遊び
モルック体験・茶道・ときが森こども冒険プログラム など

子ども体験遊びリンピック（OZU遊びリンピック） スリッパとばし・早ね早おき1分
間?!・空き缶つみタワー・どんぐり皿うつし・わりばしダーツ・かさバランス・エスパ
ーサイコロ

4 活動場所

国立大洲青少年交流の家

5 参加対象・募集人数

大洲市内の住民または従業地・通学地が大洲市にある方
200組400名程度



6 参加者数

未就学児から大人まで 75組 合計254名

7 活動内容

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、大洲市内に居住されている方や通勤・通学されている方に限定し、参加人数の制限を設けて開催した。ふれあい広場、体育館等の広い場所やクライミング場等の屋外を中心とした体験ブースを設置し、密を避けた形で実施した。

ふれあい広場では、ビニールプールカヌーや火おこし、昭和の遊び、モルック体験、ポッチャ、紙すき、ときが森こども冒険プログラムが行われた。初めて乗るカヌー等、子供達の一生懸命な姿に声を上げて喜ぶ保護者や火おこしで火が着いた時の喜んでる姿が印象的だった。体育館では、子ども体験遊びリンピック（OZU遊びリンピック）として7種目の体験ブースを設け、遊びの記録チャンピオンを目指して真剣に取り組む姿が見られた。その他、クライミング体験、華道の展示、茶道体験等の体験活動を楽しんでいただけた。

8 参加者の声

「楽しい、また来年も来るね。」「テレビで見ていた種目でルールが分からなかったのが、今回の体験で知ることができてよかった。」「お花を見られて気持ちが落ち着きます。」等の声を聞いた。

また、協力団体からも今年は開催できて良かった等の声を聞き、多くの方が待ち望んでいたイベントとして実施することができた事業となった。

（担当：事業推進係長 大藤 毅）